火災一斉メールシステム

取扱説明書・運用開始までの流れ

試験運用		2009 年 12 月 1 日
運用開始		2010 年 2 月 24 日
Ｆタイプ	Ver2.021	2012 年 8 月 8 日

発行　有限会社 加藤電工

〒877-0044　大分県日田市隈 2 丁目 1-18

e-mail info@katoden.co.jp　TEL 0973-23-2188　FAX 0973-22-7234

ひろげよう安心。つながる思い

目　次

第１章　火災一斉メールシステムのしくみ
　１－１　従来の方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
　１－２　火災一斉メールシステムの方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
第２章　運用準備をしましょう
　２－１　火災通報装置に「火災一斉メール」電話番号を登録する・・・・ 4
　２－２　携帯メールの登録・テスト送信・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
第３章　「一斉メール設定」サイト（www.kajidesu.com）の使い方
　３－１　サイトにログイン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
　３－２　施設名、住所などの確認・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
　３－３　メール送信先追加・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10
　３－４　メール送信先／編集・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11
　３－５　火災訓練日付設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14
　３－６　鎮火メール配信・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・16
　３－７　おまけ・連絡メール・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・17
　３－８　ログアウト・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・18
第４章　緊急連絡メールの使い方
　４－１　緊急連絡メールへログイン、送信のしかた・・・・・・・・・・・19
　４－２　緊急連絡パスワードの変更のしかた・・・・・・・・・・・・・・・21
第５章　安否確認メールシステムの使い方
　５－１　安否確認メール送信のしかた・・・・・・・・・・・・・・・・・・22
　５－２　携帯メールの受信と返信のしかた・・・・・・・・・・・・・・・・24
　５－３　「安否確認伝言板」を表示し確認する（管理画面から入る）　・25
　５－４　「安否確認伝言板」を表示し確認する（ｽﾏｰﾄﾌｫﾝ等から入る）・・26
第６章　料金とお支払い方法
　６－１　料金(Ｆタイプ)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・28
　６－２　ご請求と入金・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・28
第７章　運用までの流れ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・28
第８章　重要事項説明・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・29
第９章　困ったなと思ったら・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・29

はじめに・・・

この度は　火災一斉メールシステムのご導入をいただき誠にありがとうございます。ご使用前に取扱説明書をご一読頂き、快適にご使用くださいますようお願い申し上げます。また、お取引の消防設備点検業者様向けの「火災通報装置の設定と試験方法説明書」も用意させて頂いておりますので併せてご使用下さい。

さて、万一火災が発生した場合、

- 初期消火
- 避難誘導
- １１９番通報
- 関係者・職員への連絡

と　素早く対処しなければなりません。特に夜間は、少ない人員で対処しなければなりません。なかでも関係者・職員への連絡は、電話回線を使用するため職員全員に連絡が届くのに随分時間がかかります。「連絡は、鎮火して１時間後だった」ぞっとする残念な事実です。

この問題を見事に解決したのが、**火災発生**を職員全員に瞬時に知らせる「火災一斉メールシステム」です。職員のほか近隣の協力者様、協力いただける地域消防分団員様など消防力強化につながる多くの方へ、携帯メール配信が可能になったのが大きな特長です。

また、本システムでは、風水害、離院・離設や突発的な事故が発生した場合、正確で迅速な緊急連絡手段として利用する「緊急連絡メールサービス」、大規模な災害時に職員の無事や出勤の可否を確認する「安否確認メールサービス」も運用できます。

ご存じの通り、消防法で年２回以上の消防訓練が義務付けられています。消防訓練実施の際、職員の方に本システムをご説明頂き、訓練メニューとして実施、施設の安全を強化し患者様・入所者様・ご家族によりご安心をいただければと存じます。

ご不明な点など、お気軽にお問い合わせ下さい。

第１章　火災一斉メールシステムのしくみ

１－１　従来の方法

万一、火災が発生した場合、下写真の火災通報装置の通報ボタンを押し、１１９番通報を行い、その後、関係者に自動的に火災メッセージを送信する方法が一般的な方法でした。しかし、メッセージを電話回線を使用し音声で伝えるため、最終伝達者まで時間がかかる、確実性に乏しい、多数の職員に伝えるには不向きなどの欠点がありました。また、多くの火災通報装置が携帯電話には十分対応していません。

この問題を見事に解決したのが、火災一斉メールシステムです。

火災通報装置

１－２　火災一斉メールシステムの方法

万一、火災が発生した場合、火災通報装置の通報ボタンを押し１１９番通報を行います。ここまでは従来の方法と変わりません。

火災通報装置は、次に一般通報先へ電話回線を使用しメッセージ送信を始めます。一般通報先数は、火災通報装置によって異なりますが、概ね１０～１６ヶ所です。

「火災一斉メールシステム」では、一般通報先の第１通報先に「火災一斉メールサーバー」電話番号（注１）が設定されており、火災メッセージを受信した「火災一斉メールサーバー」は、着信電話番号（注２）を確認し、次にメッセージ音声内容を確認（注３）し、関係者全員（最大５００名）に数十秒で携帯メールを配信し火災発生を伝えます。

注１　「火災一斉メールサーバー」電話番号：ご契約後、ＩＤ、パスワード、確認番号と共に宅急便等でお送り申し上げます。

注２　「火災一斉メールサーバー」は、あらかじめ登録された火災通報装置収容回線番号であるかを確認します。

あらかじめ登録された収容回線番号と確認された場合、次ステップの音声内容確認に進みます。

収容回線番号が登録内容と確認されなかった場合、回線を切断し待機状態に戻ります。

注３　「火災一斉メールサーバー」は、メッセージ内容の送信手順が法令で定められていますので、次の方法で内容を確認します。

最初に送信される「ピ、ピ、ピ　ピ、ピ、ピ」の特有信号、「火事」、「電話番号」、「こちらは」の単語の何れかでも確認できた場合、「火災メール」を携帯電話に配信します。

確認できなかった場合、「疑火災メール」を配信します。

送信される携帯メール

配信メールには、次の４つのパターンがあり設定状態により、「火災一斉メールサーバー」から配信されます。

まとめると、

	メッセージ内容を確認できるか？	
	確認できる	確認できない
警戒モード	火災メール	疑火災メール
訓練・点検モード	【訓練・点検】火災メール	【訓練・点検】疑火災メール

【火災メール文例】

携帯メール表題　〇〇病院で火災が発生しました

携帯メール本文　〇〇病院で火災が発生しました。

住所　東京都文京区〇〇町１－１３

電話　０３－１２３４－５６７８

このメールは火災一斉メールシステムより自動で配信されました。

【疑火災メール文例】

携帯メール表題　〇〇病院で火災発生の模様

携帯メール本文　〇〇病院で火災が発生している模様です。

住所　東京都文京区〇〇町１－１３

電話　０３－１２３４－５６７８

このメールは火災一斉メールシステムより自動で配信されました。

【訓練・点検　火災メール文例】

携帯メール表題　訓練・点検　〇〇病院で火災が発生しました

携帯メール本文　訓練・点検です。
〇〇病院で火災が発生しました。
住所　東京都文京区〇〇町１－１３
電話　０３－１２３４－５６７８
このメールは火災一斉メールシステムより自動で配信されました。

【訓練・点検　疑火災メール文例】

携帯メール表題　訓練・点検　〇〇病院で火災発生の模様

携帯メール本文　訓練・点検です。
〇〇病院で火災が発生している模様です。
住所　東京都文京区〇〇町１－１３
電話　０３－１２３４－５６７８
このメールは火災一斉メールシステムより自動で配信されました。

※ 文例中の施設名称、住所、電話番号は、貴施設のものに変更され配信されます。

※ その他〈訓練・点検登録メール〉〈訓練・点検モードへの変更メール〉〈警戒モードへの変更メール〉も配信されます。

第２章　運用準備をしましょう

運用開始までの流れ

使用開始申込書①をＦＡＸ送信
火災通報装置情報②をＦＡＸ送信
↓
ご入金手続き
↓
ＩＤ・パスワード・確認番号・緊急連絡パスワードを受け取る
↓
運用開始

ＩＤ、パスワード、確認番号、緊急連絡パスワードを受け取った後、次の手順にて運用を開始します。

２－１　火災通報装置に「火災一斉メールサーバー」電話番号を登録する

火災通報装置の第１通報先に「火災一斉メールサーバー」電話番号を登録します。登録方法は、火災通報装置の取扱説明書に従って登録して下さい。既に数件の登録がある場合は、順次ずらして再登録をお願いします。最後に登録内容を確認します。

※できればお取引の消防設備点検業者様にご依頼頂くことをお薦め致します。

２－２　携帯メールの登録・テスト送信

［１］携帯メールの登録・テスト送信

「火災一斉メール」を携帯電話で受信できるかを確認します。
次章「一斉メールシステムサイト」（www.kajidesu.com）の使い方で詳しく説明します

［２］携帯メールの受信設定

携帯メールを受信できない場合、次の手順で確認しましょう。
携帯電話と言っても、ドコモ、ａｕ、ソフトバンク、ＰＨＳなど様々です。ここでは一般的な名称を使用しながら説明しますので、詳しくは個々の携帯電話通信会社の仕様に合わせ設定して下さい。

① 携帯メールが使用できるように携帯電話通信会社と契約する。
② Ｅメールの一括受信拒否の設定をしている場合は受信側に再設定して下さい。
③ 一括受信をしない場合は、指定受信リストに火災一斉メールアドレスのドメイン kajidesu.com や videw.com を設定下さい。

※ 「火災一斉メール」は、人命や財産にかかわる重要なメールです。個別設定や

グループ分けを行い、火災一斉メール着信音はできるだけ大きく、着信音継続時間はできる限り長く設定して下さい。

※ 携帯メールへの送信元（送信アドレス）と送信者は次の通り

火災一斉メールの通常系統・安否確認メールの通常系統での配信

送信アドレス　119@kajidesu.com　　送信者　火災一斉メールシステム

予備系統での配信・部署別連絡メール（施設情報画面）・緊急連絡メールの配信

送信アドレス　kajidesu_119@videw.com　送信者　火災一斉メールシステム

※ 携帯メールの指定受信の方法（参考）

火災メールサーバーからのメールが届かない場合、お客様の携帯電話側でメールの受信拒否が設定されている場合があります。その場合、以下の手順に従って受信の設定をお願いします。

docomo をご利用のかた

（１）「iMenu」→「お客様サポート」→「各種設定（確認・変更・利用）」より「メール設定」を開きます。

（２）メール設定メニュー内「受信／拒否設定」よりパスワードを入力し「迷惑メール対策」を開きます。

（３）受信／拒否設定メニュー内「受信設定」へ以下ドメインを追加してください。

@kajidesu.com　と　@videw.com

※シークレットコードを登録されているお客さまは、事前にシークレットコードの解除を行なってください。

au をご利用のかた

（１）「迷惑メールフィルター」（「メールフィルター」）を開きます。

※機種によりメニューが違います。

（２）指定受信リスト設定（なりすまし・転送メール許可）メニュー内「有効/リスト編集する」にチェックを入れ「次へ」を選択します。

（４）指定受信リストに下記ドメインを登録してください。

@kajidesu.com　と　@videw.com

※指定受信設定を行なってもメールが届かないかたは、「なりすまし規制」を変更して下さい。

SoftBank をご利用のかた

（１）Yahoo!ケータイのトップ画面（※待受画面「Y!」ボタン）より、「設定・申込」→「設定・変更」→「メール設定」を開きます。

（２）メール設定メニューより「メール設定（アドレス・迷惑メール等）」→「迷

惑メールブロック設定」を開きます。
（３）個別設定にチェックを入れ、次へ進み、「受信許可・拒否設定」→「受信許可リスト設定」を開きます。
（４）「利用設定で設定する」にチェックを入れ、入力欄に下記ドメインを追加してください。

@kajidesu.com　と　@videw.com

WILLCOM をご利用のかた

（１）オンラインサインアップでセンターに接続し、メニューの「メールアドレス指定受信拒否／指定受信」を選択　「指定受信の登録／追加／削除」を選択
（２）指定受信を行うドメイン【*@kajidesu.com】及び【*@videw.com】を入力
（３）入力内容確認・完了
※一部機種によって、上記の操作方法とは異なる場合があります。恐れ入りますが、ウィルコムサービスセンターに問い合わせください。

■ウィルコムの電話から　（116）
■一般電話、公衆電話、携帯電話、PHS から（0120-921-156）

EMOBILE をご利用のかた

（１）メール設定サイトへアクセスし、「メールフィルタ」を選択
（２）「指定受信設定」を選択
（３）指定受信を行うドメイン【kajidesu.com】及び【videw.com】入力
※メール設定サイトへのアクセスは、機種によって異なります。お手持ちの取扱説明書をご参照下さい。

第３章「火災一斉メールシステム」サイト（http://www.kajidesu.com）の使い方

この「火災一斉メールシステム」サイトは、

- ◊　施設の基本情報の変更
- ◊　管理者の登録・変更
- ◊　携帯電話メールアドレスの登録・変更・テストメール送信
- ◊　防火訓練や点検の日付設定と変更
- ◊　安否確認伝言板（安否確認メール一斉送信等）
- ◊　「鎮火メール」「誤報メール」などの続報配信
- ◊　部署別　連絡メールの配信

にご使用頂けます。

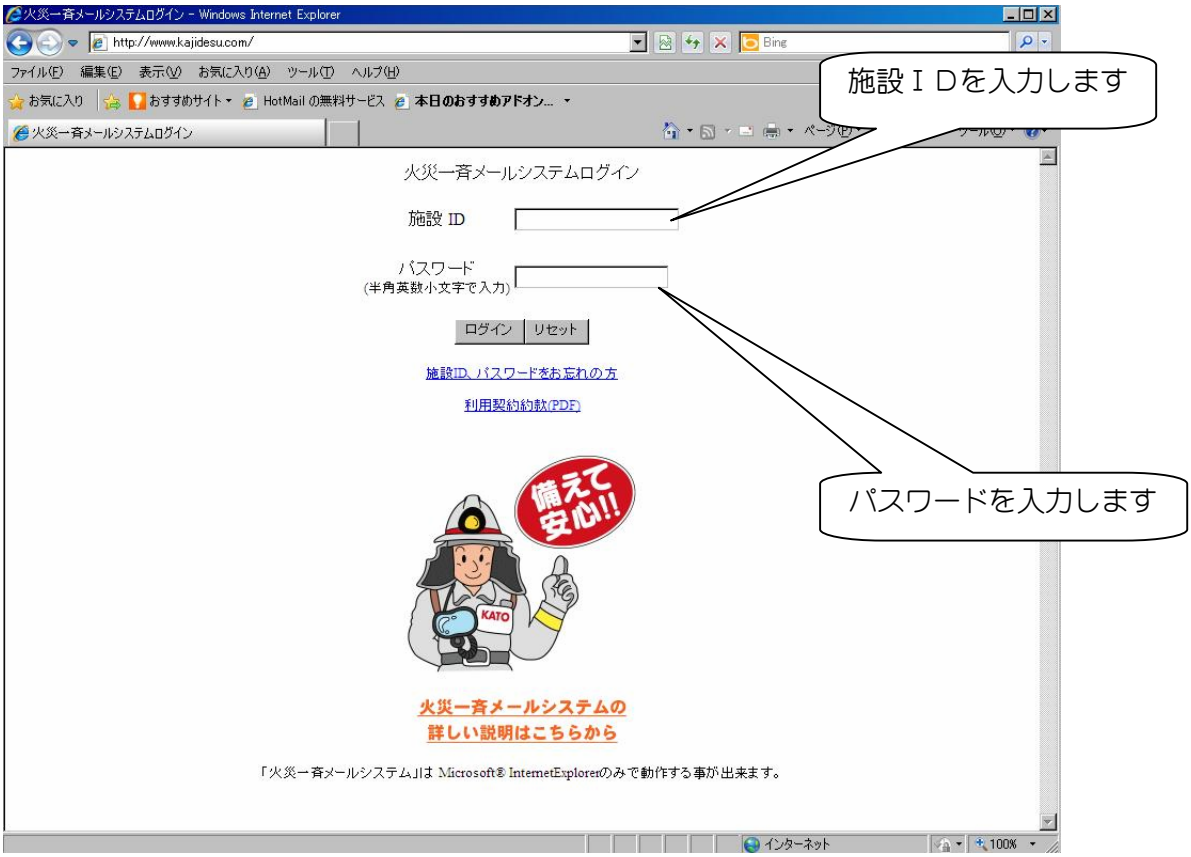
ヒント!!
「火災一斉」で検索すると
すぐ出ますよ!

３－１　サイトにログイン

最初に、サイトにログインする手順をご説明します。
お手元に、施設ＩＤ、パスワード、緊急連絡パスワード、確認番号が記入された「火災一斉メール」「登録情報」をご用意下さい。

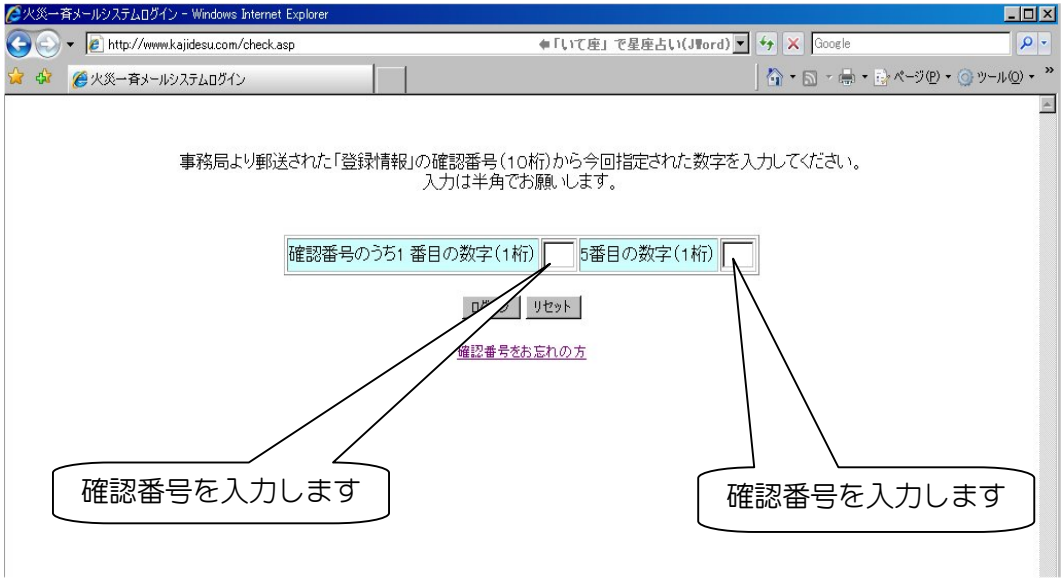
ａ）インターネットから「火災一斉メールシステム」サイト
（http://www.kajidesu.com）へ接続します。

ｂ）接続するとログイン画面が表示されます。



施設ＩＤとパスワードを入力しログインボタンを押します。

ｃ）確認番号の入力画面が表示されます。



「登録情報」の確認番号（10 桁）から今回指定された数字を半角で入力し、ログインボタンを押しログインします。

※　パスワードや確認番号を忘れた場合や変更したい場合、ログインボタンの下に、ボタンがありますので、ダウンロードしＦＡＸにて弊社までご連絡下さい。

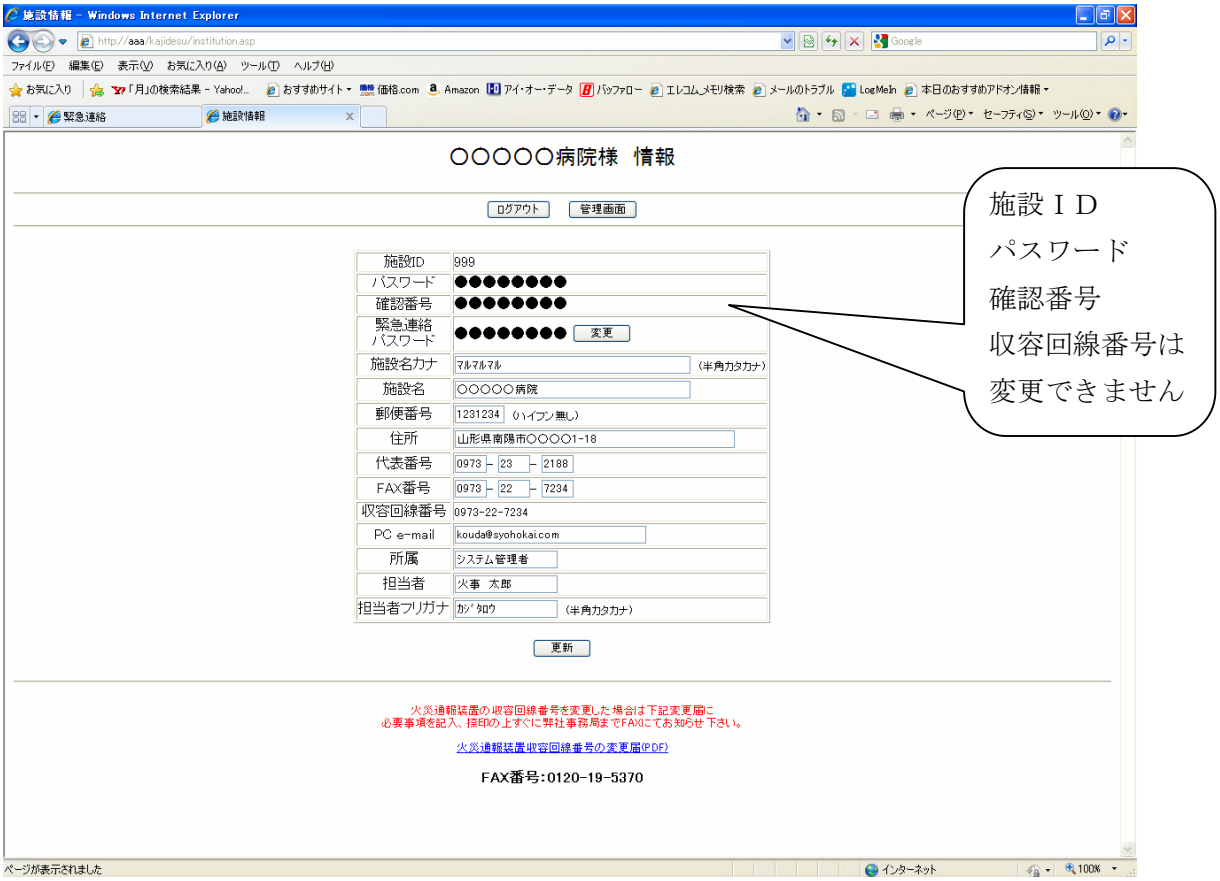
ログインすると、管理画面が表示されます。

３－２　施設名、住所などの確認

管理画面では、

施設情報の編集
メール送信先一覧／編集
メール送信先追加
火災訓練日付設定

を行うことができます。まず施設情報を確認してみましょう。



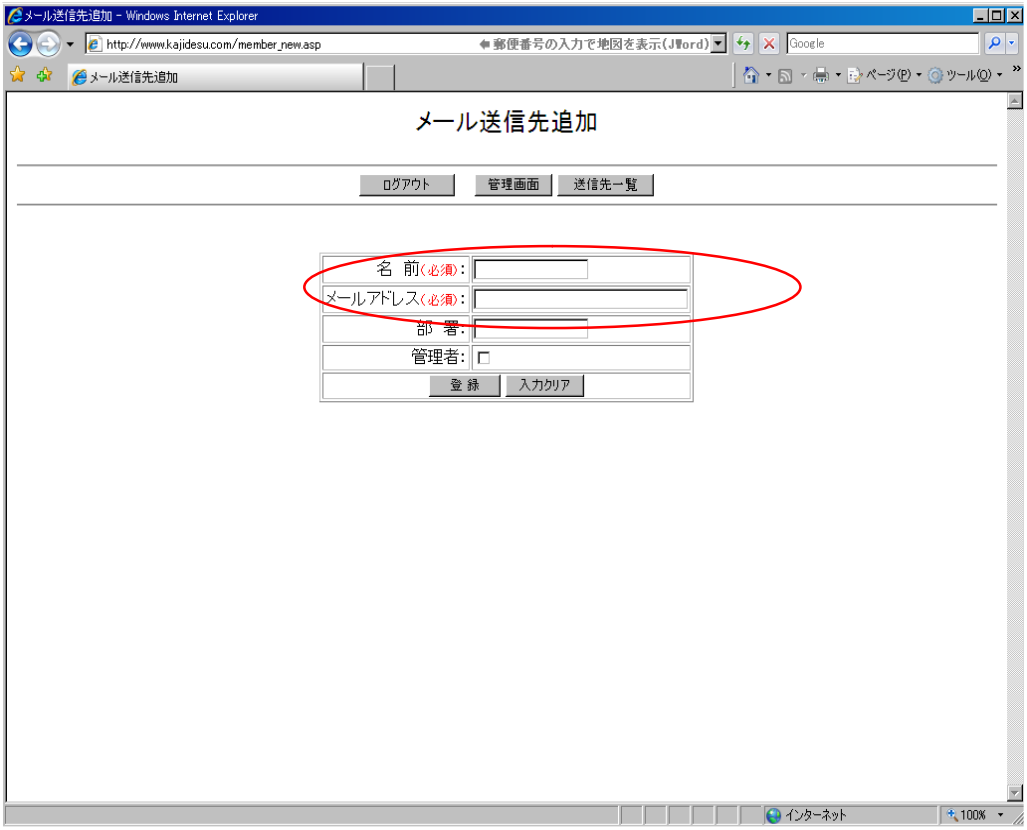
施設ＩＤ、パスワード、確認番号、収容回線番号は変更できませんが、その他の項目はこの画面で変更することができます。緊急連絡パスワードの変更は、自由に行うことができます。第４章（Ｐ２１）を参照下さい。

特に、移設などで火災通報装置の収容回線番号が変更になると、本サービスが全く機能しませんので、速やかに弊社までご一報下さい。また、パスワード及び緊急連絡パスワードはお客様にて十分な管理をお願いします。

３－３　メール送信先追加

まずメール送信先を追加します。

「管理画面」のボタンを押し、一度「管理画面」に戻り、「メール送信先追加」ボタンをクリックします。



名前、携帯メールアドレス（必須）を入力します。

部署を入力します。この場合の部署は、総務課、第１内科など職制毎の分かり易い分類で構いません。また、管理者へチェックを入れると「訓練・点検モード」への変更や「警戒モード」への変更メールを送信します。

ヒント!!
最初は、2～3名の登録で練習し、徐々に登録数を増やしましょう。

３－４　メール送信先一覧／編集

「送信先一覧」では、

a） 登録された送信先の一覧表示

b） 登録された送信先の編集と削除

c） テストメールの送信

をすることができます。初期状態は、入力された全てのメール送信先が表示されます。

a） 登録された送信先の一覧表示

登録された送信先の一覧表示について説明します。

まず次頁の画面内step１で

- 名前検索に名前を入力し「検索ボタン」をクリックすると合致するメール送信先が表示されます。
- 部署検索に部署名を入力し「検索ボタン」をクリックすると合致する部署のメール送信先が表示されます。
- 管理者選択ボタンでは、
  「全て」は、全てのメール送信先を
  「管理者」は、管理者のメール送信先を
  「一般」は、管理者以外の一般のメール送信先を表示します。

例えば、次頁の例では、【内科】の【一般】を選択すれば、全てのメール送信先から、【内科】でしかも【一般】のメール送信先を検索し表示します。

b） 登録された送信先の編集と削除

「編集ボタン」を押すと、送信先編集画面が立ち上がり、名前、メールアドレスや部署などを編集することができます。「削除ボタン」を押すと削除確認画面が立ち上がり、再度確認後削除されます。

c） テストメールの送信

実際にテストメールを送信し、メール送信先が受信できたか否かをチェックします。インターネットからの受信を拒否しているメール送信先もあります。テストメールを送信し、受信できないメール送信先は、携帯メールの受信設定を確認頂き、受信できるよう再設定をお願いします。

テストメールの送信手順を説明します。

step１の 「名前」「部署検索」「管理者選択」で、希望するテストメール送信先を表示します。何も選択されない場合は、全てのメール送信先が表示されます。

次に、step2 の送信元設定を行います。本システムでは、通常系統での配信には 119@kajidesu.com を使用し、予備系統と緊急連絡メールには、kajidesu_119@videw.com

を使用しています。どちらのメールアドレスも受信できることを確認します。まず、通常系統の 119@kajidesu.com を選択しテストメールを送信します。次に予備系統と緊急連絡メール用の kajidesu_119@videw.com を送信しメール送信先の受信を確認します。

送信結果は、１５分後に表示されその間は空白が表示されます。２回目以降のテストメール送信を行うと、再び「結果」は空白を表示し、同様に１５分後に結果が表示されます。結果は、表示されると共にＰＣ定期メールアドレスに結果報告されます。

送信先一覧 - Windows Internet Explorer
送 信 先 一 覧
ログアウト
管理画面
送信先追加
step1
●名前検索:
●部署検索: 全て表示
●管理者選択
全て
管理者
一般
step2
●送信元は？
119@kajidesu.com
kajidesu_119@videw.com
step3
●送信しましたか？
全て
はい。送信済です
いいえ。未送信です
setp4
●送信結果は？
全て
送信出来る
送信出来ない
検 索
ID 名 前 メールアドレス 部 署 管理者 編集 削除 119@kajidesu.com kajidesu_119@videw.com
テスト送信 送信 結果 テスト送信 送信 結果
1 火事 一郎 ichirou@kajidesu.com 内科 一 般 編集 削除 テスト送信 済み × テスト送信 済み ×
2 火事 二郎 jirou@kajidesu.com 外科 一 般 編集 削除 テスト送信 未送信 テスト送信 済み
3 火事 三郎 saburou@kajidesu.com 内科 一 般 編集 削除 テスト送信 済み ○ テスト送信 済み ×
4 火事 四郎 shirou@kajidesu.com 外科 一 般 編集 削除 テスト送信 未送信 テスト送信 済み ○
5 加藤初徳 kato@kajidesu.com 外部業者 一 般 編集 削除 テスト送信 済み × テスト送信 済み ○
6 加藤 PC kato_pc@kajidesu.com 外部業者 一 般 編集 削除 テスト送信 済み ○ テスト送信 未送信
7 江田 PC koda_pc@kajidesu.com 内科 一 般 編集 削除 テスト送信 済み ○ テスト送信 済み ×
8 江田 koda@kajidesu.com 外部業者 管理者 編集 削除 テスト送信 済み × テスト送信 未送信
上記の一覧に表示されている送信先に一斉配信します。
テストメール一斉配信

step3 は、テストメールを送っていないメール送信先にだけにテストメールを送りたい場合などに使用します。「はい。送信済みです」ボタンでは、テストメール送信済みのメール送信先だけを表示します。また、「いいえ。未送信です」ボタンでは、テストメール未送信のメール送信先を表示します。

step4 は、送信結果が「×」のメール送信先だけに再度テストメールを送りたい場合に便利です。「送信出来る」ボタンを押すと「結果」が〇の送信先リストを表示し、「送信出来ない」ボタンを押すと「結果」が×の送信先リストを表示します。

step1～step4 へ進みながらテストメールの送信先リストを作成し、最下段の「テストメール一斉配信」ボタンを押し配信します。
また、全てのメール送信先にテストメールを配信する場合は、step1,3,4 を「全て」に選択し、step2 で送信元を選択し、テストメールの配信を行います。もちろん一覧表中の個別「テスト送信」ボタンを押せば個別にテストメール送信を行えます。

※ 予備系統の kajidesu_119@videw.com は、送信結果が「〇」の場合でも不着の場合があり、定期的にテスト送信を行い、実際に携帯側がメールを受信できることを確認して下さい。特に通常系統の 119@kajidesu.com が「×」の場合は、予備系統も不着である可能性が高いので携帯電話の「指定受信の設定」（Ｐ５）を参考に確認して下さい。

印刷は、ブラウザの印刷機能に依って下さい。

３－５　火災訓練・点検日付設定

　火災訓練では、必ず火災通報装置を使用しますので必ず「訓練点検モード」へ設定を変更しましょう。また、消防設備点検時も点検業者と時間を打ち合わせ「訓練点検モード」への設定変更を忘れないようにしましょう。万一、「警戒モード」のままですと全員に「火災メール」が配信されることになります。

訓練前に「管理画面」から「火災訓練・点検日時設定」へと進み、「カレンダー表示」を使い日付設定を行います。

次に、

▼ マークから開始時間を設定して行きます。

モード変更の設定時間は、３０，４５，６０分間から選択できます。

送信先設定を行います。

「モード変更送信先」:訓練・点検の開始日時になりましたら、「警戒モードから訓練・点検モード」に切り替わり、訓練・点検の終了日時になりましたら、「訓練・点検モードから警戒モード」に切り替わります。この時「モード変更メール」が配信されますが、送信先は、「管理者のみ」か「全員」のどちらかを選択できます。

また、この訓練・点検モード中に、火災通報装置の通報ボタンを押すと「訓練期間送信先」で設定された送信先に、「訓練・点検火災メール」もしくは「訓練・点検疑火災メール」が届きます。送信先は、同様に「管理者のみ」か「全員」のどちらかを選択できます。

※登録後「訓練・点検日時登録メール」は、管理者のみに配信されます。

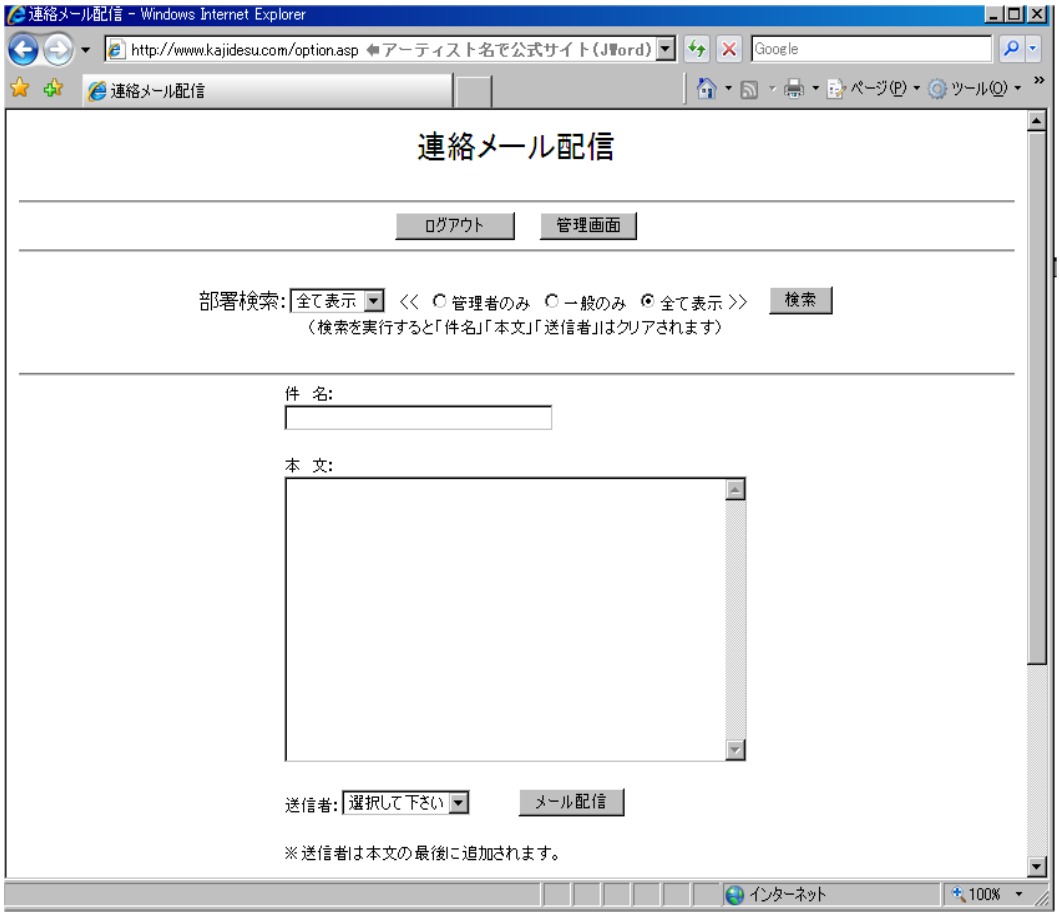
また、表示画面下部には、「火災訓練日付設定一覧」が表示され、月毎の検索も可能です。訓練や点検を中止する場合は、「火災訓練日付設定一覧」の削除ボタンで削除し、日時変更の場合は、編集ボタンで内容の変更を行います。

３－６　鎮火メール配信

　万一火災が発生した場合、関係者への続報も必要な作業です。本サービスでは、「火災鎮火メール」と「誤報メール」をメール送信先全員に配信できます。
使用法は、ほとんど変わりませんので「火災鎮火メール」を例にして説明します。
件名・本文は、施設名・電話番号・住所が入力されていますが文章追加もできます。
発信者を選択しメール配信します。

３－７　おまけ・連絡メール

せっかく入力したシステムを日常業務でも使用したいとのお声に応えました。



日常業務の簡単な業務連絡にご使用下さい。

配信する部署を検索し

管理者のみ・一般のみ・全て表示かを選択すると

下部に選択されたメール送信先が表示されますので

件名、本文を入力し、送信者を選択し「メール送信」します。

送信者は、管理者のみが登録されており、管理者以外の送信はできません。

ヒント!!

事務連絡やお知らせを「連絡メール」を使って配信しましょう。実際には、会議時間の変更から通夜・葬儀の連絡まで広範囲に使用されているようです。

職員の方が「連絡メールを見ないと損だ」と思いだしたらしめたものです。メールシステムが軌道に乗りだした証拠です。体験者は、「習慣化するのに6ケ月間程かかるね」と述べています。

３－８　ログアウト

携帯メールアドレスの追加・編集や訓練設定などの作業が終了したら、「ログアウト」をクリックしログアウトします。

「火事です！着ＶＯＩＣＥダウンロード」は、四角いＱＲコードを使ってダウンロードできます。火災メール着信時に「火事です、火事です、火災メールです」の女性音声で知らせてくれますので、とても便利に使用できます。詳しい設定は、携帯電話取扱説明書に基づいて行って下さい。

第４章　緊急連絡メールの使い方

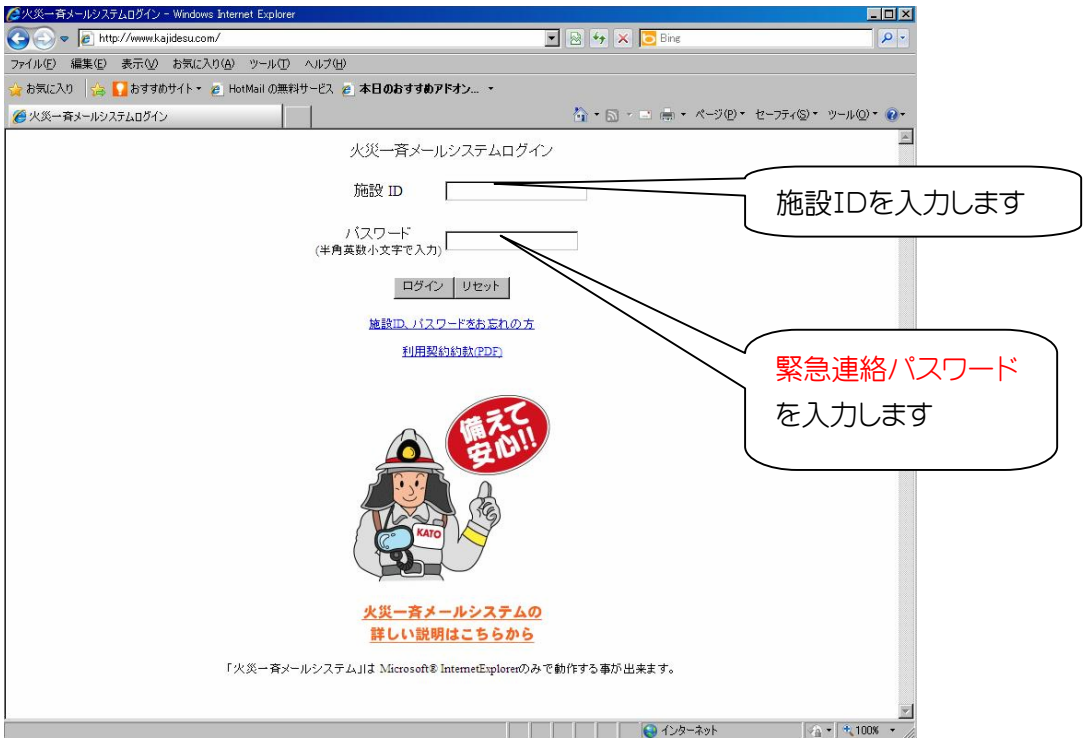
お客様から「せっかく入力した携帯メールアドレスを緊急連絡メール用にも使用したい」と言うご要望をたくさんいただいておりました。ところが、本システムは、個人情報である多くの携帯メールアドレスを保有しており、個人情報保護の面から管理者以外のログインは残念ながら行えませんでした。

この問題を「緊急連絡用パスワード」を使用することで解決しました。つまり、施設管理者から「緊急連絡用パスワード」の配給を受けている人は、どこからでもスマートフォン、携帯電話（インターネット接続可能）やパソコンから緊急連絡メールを部署別もしくは全員に送信することが出来るようになりました。しかも個人情報はしっかり保護されています。

風水害時、突発的事故や離院・離設など緊急性を要する連絡には十分お役に立てると思います。

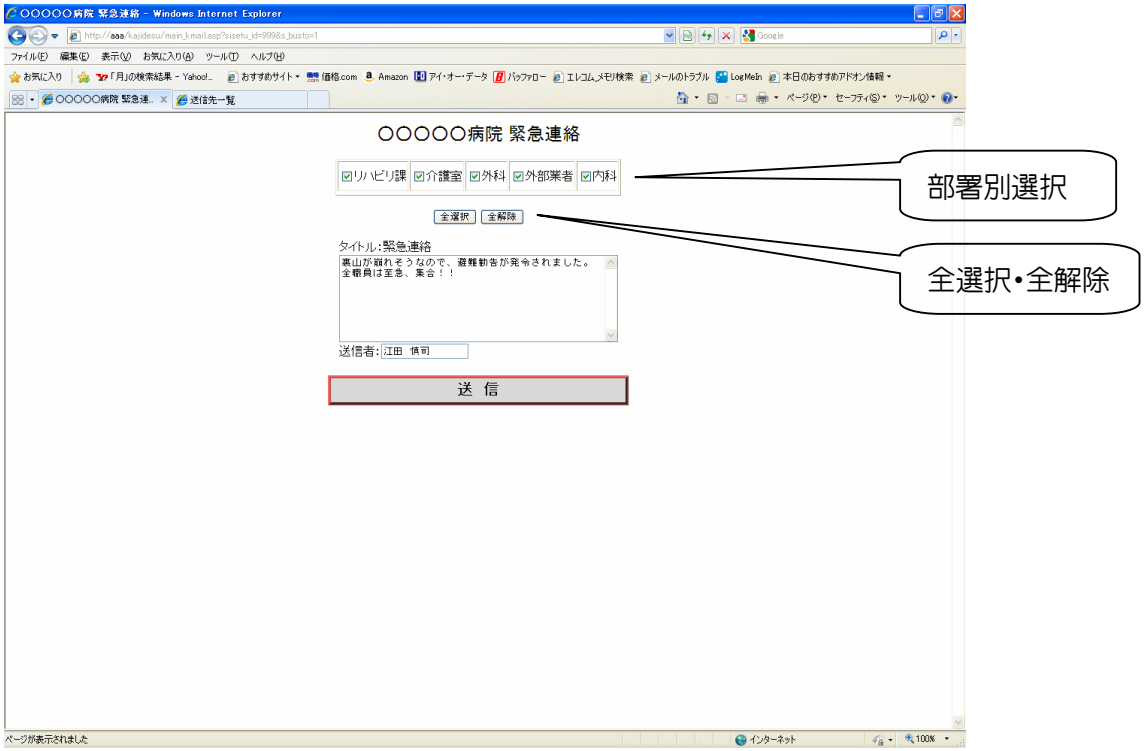
４－１　「緊急連絡メール」へログイン、送信のしかた

a）インターネットから「火災一斉メールシステム」サイトへ接続するとログイン画面が表示されます。



b） ログイン画面から施設IDと「緊急連絡パスワード」を入力します。

c） 「緊急連絡」のページが表示されます。



部署別に送信する場合は、「部署別選択」を行い、全員に送信する場合は「全選択」を選択します。

タイトルは、「緊急連絡」に固定されています。

本文を入力します。

送信者を入力します。例えば名前だけではなく、「当直看護師の木村やすこ」などと入力することもできます。

入力が済めば「送信」ボタンを押し、送信します。

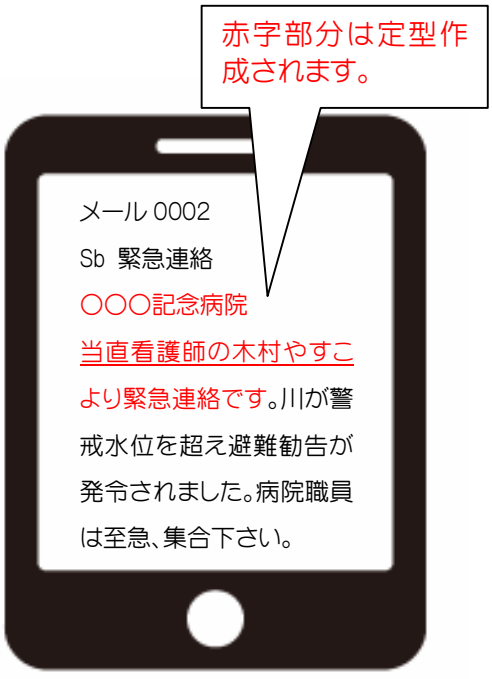
本文が入力されていない場合や送信者が入力されていない場合は送信されません。

送信後は、緊急連絡ページに戻ります。

終了する場合は、ブラウザの「ファイル」→「終了」で終了します。

※1 緊急連絡メールは、kajidesu_119@videw.com から送信されますので受信できるよう携帯の設定をお願いします。

※2 緊急連絡メールについての記録は、サーバー側に残りませんので事後の問い合わせには応じかねます。

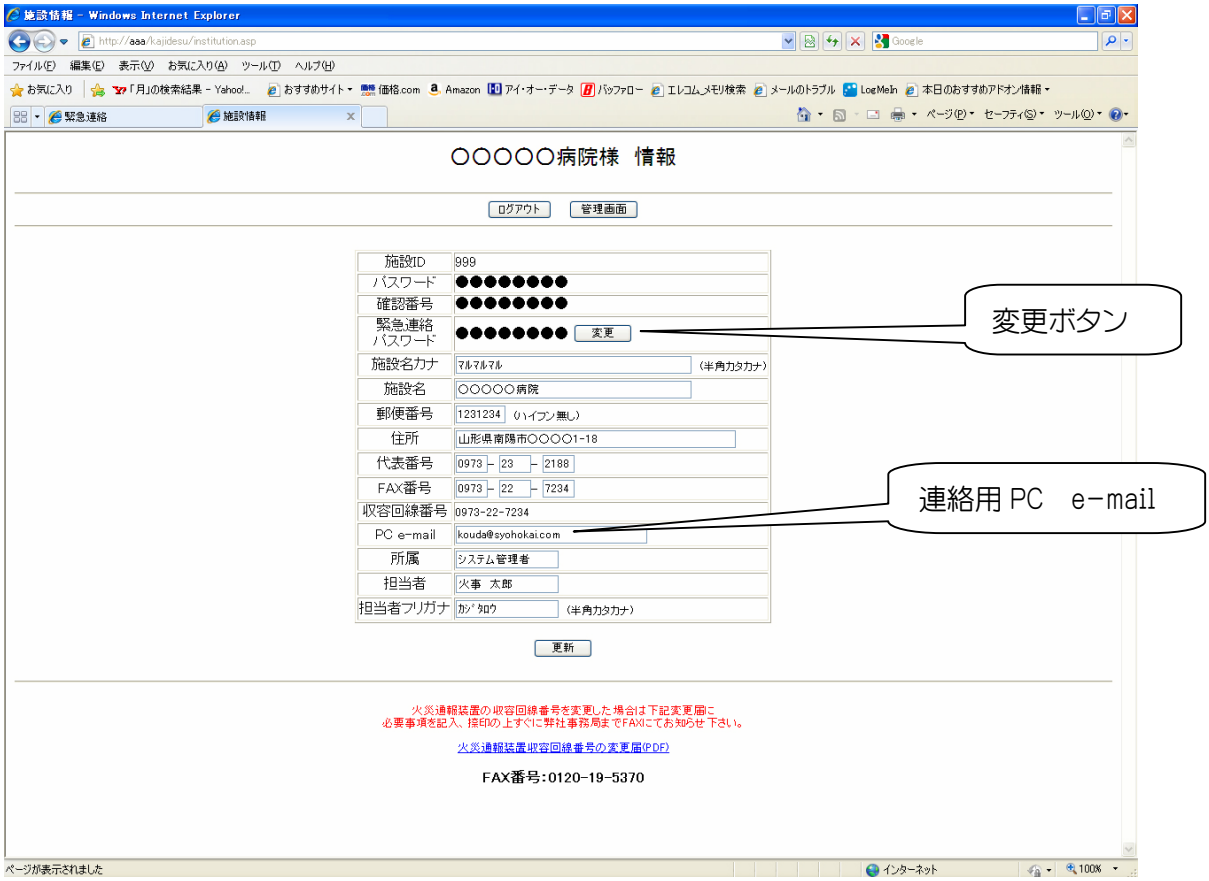


受信例

4−2　緊急連絡パスワードの変更のしかた

緊急連絡を使用開始する最初のパスワードは、事務局より配布しますがお客様側にて自由に変更することができます。

a)施設情報画面から「緊急連絡パスワード」の変更ボタンをクリックします。



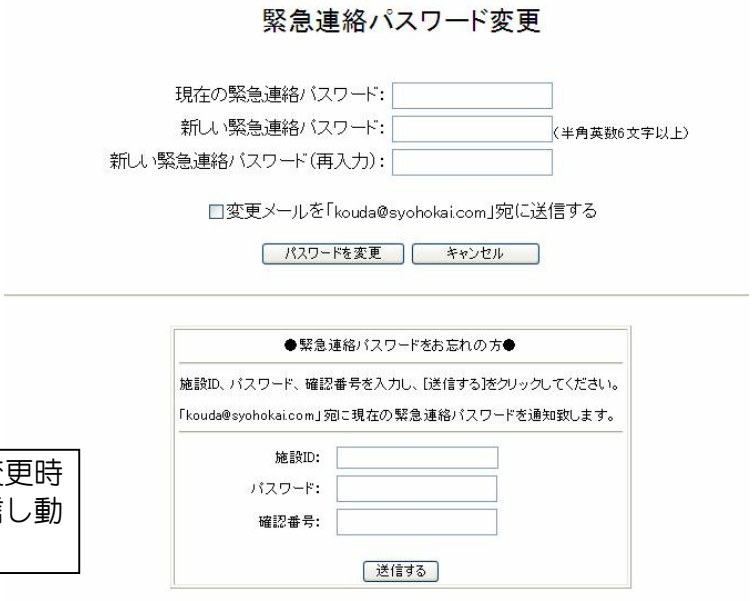
b)緊急連絡パスワード変更画面が表示されます

変更する場合は、

現在のパスワードと新しいパスワードを入力し変更します。

念のため、変更結果を連絡用 PC e−mail に送ることもできます。

また、忘れてしまった場合は、「施設ID」「パスワード」「確認番号」を入力すれば、連絡用 PC　e−mail に送信され確認することができます。



ご注意　使用開始時、パスワード変更時には、テストメールを送信し動作を確認しましょう。

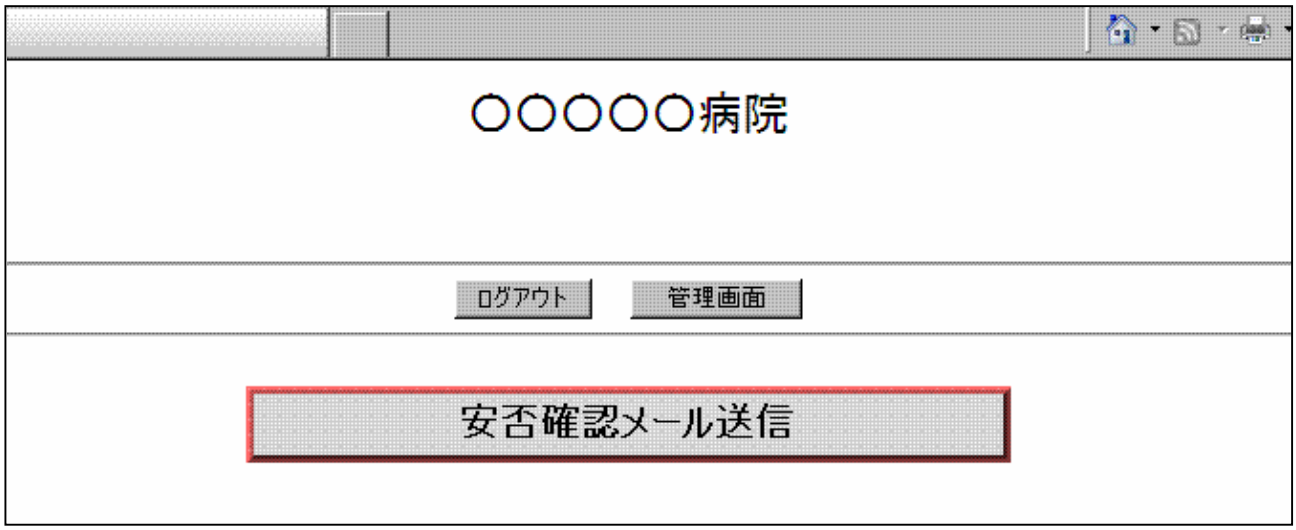
第５章　安否確認メールシステムの使い方

地震や風水害などの大規模災害時に被害の把握はもちろんですが、医療、介護施設では職員の安全を確認し、サービスを継続することが強く求められます。
管理者は、職員に「安否確認メール」を一斉送信します。受信した職員は、傷の程度や所在地、出勤の可否をそのまま返信します。返信されたメールは、「安否確認伝言板」に表示され、パスワードがあれば職員は誰でも閲覧できるシステムです。

また、調査によれば音声電話とメールだけを使用する携帯電話も多いことから、本システムでは、メール送受信機能だけを使って安否確認システムを構築しています。

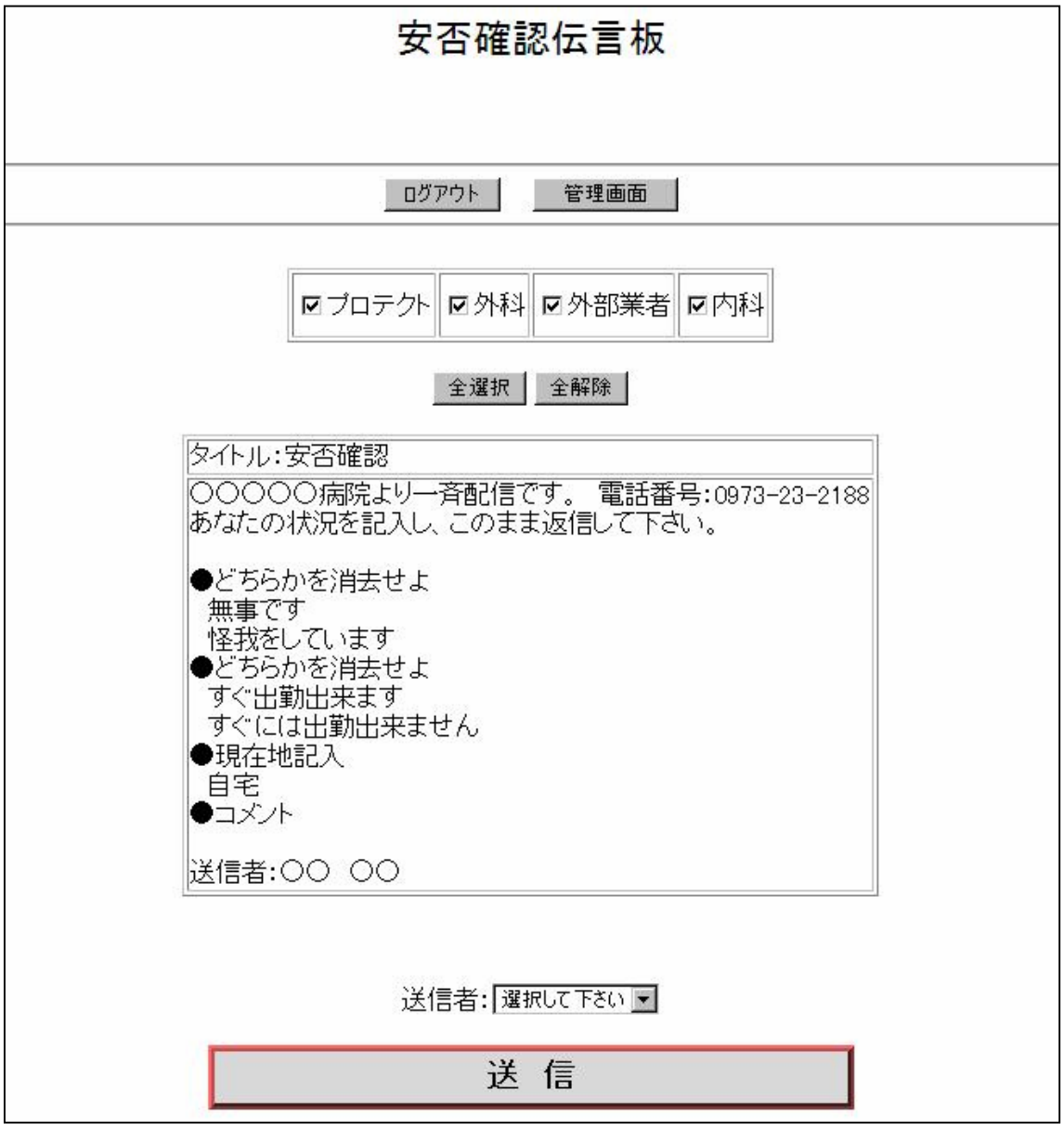
５－１　「安否確認メール送信」のしかた

a)火災一斉メールシステムにログインします。
b)管理画面から「安否確認伝言板」をクリックします。
c)下図の「安否確認メール送信」ボタンをクリックします。



d)送信したい部署を選択します。「全選択」ボタンで全て選択され、「全解除」ボタンで選択が全て解除されます。

e)送信者を選択し送信します。



送信タイトルと本文は固定されており変更することはできません。また、災害状況に合わせて何度でも出すことができます。例えば、地震の場合、余震発生の都度送信することもできます。送信記録は、「安否確認伝言板」(P25参照)に緑帯で表示されます。

５－２　携帯メールの受信と返信のしかた

本システムは、インターネットに接続することなく、メール送受信機能だけを使った安否確認システムであることが特長です。携帯電話が受信した安否確認メールにそのまま返信して安否を伝えます。

a)安否確認メールの受信

通常のメールと同様に受信されますが、緊急メールですので、できれば着信音鳴動時間は長く、気がつきやすい着信音に設定し、他の通常メールと区別しやすい工夫をお願いします。詳しくは、それぞれの携帯電話の取扱説明書に依って下さい。

b)安否確認メールの返信

下図のようなを受信しますので、手順に従い返信します。

タイトル:　安否確認
本文
〇〇〇〇〇病院より一斉配信です。 電話番号:0973-23-2188
あなたの状況を記入し、このまま返信して下さい。

●どちらかを消去せよ
　無事です
　怪我をしています
●どちらかを消去せよ
　すぐ出勤出来ます
　すぐには出勤出来ません
●現在地記入
　自宅
●コメント

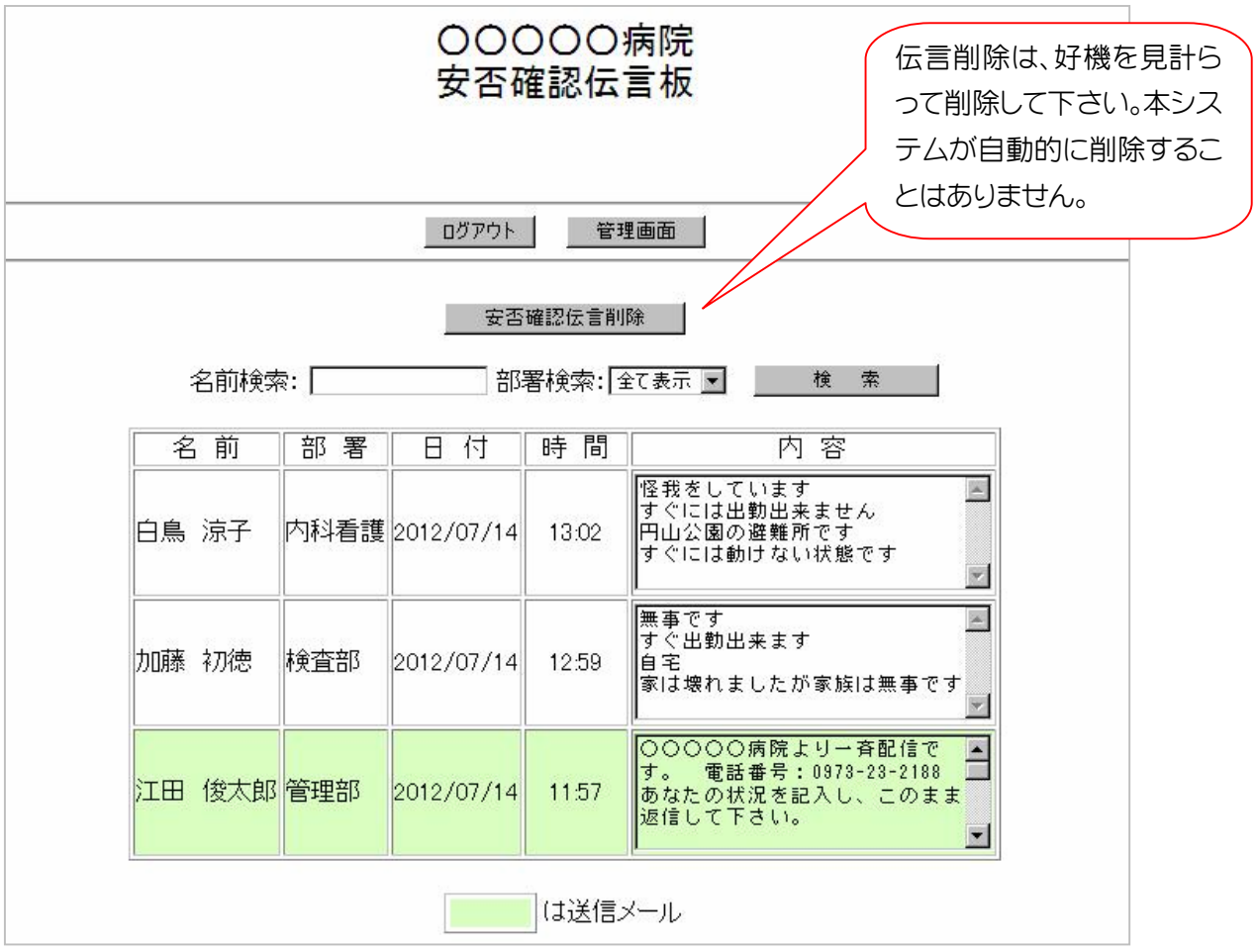
※施設名、電話番号などは貴施設のものに変更され配信されます

ｂ－１)赤丸部の該当しない部分を消去します。
受信したら携帯電話の「返信ボタン」を押すと、「送信メール作成」画面が開きます。
本文入力に移動し、例えば、怪我をしていない場合は、「怪我をしています」を消去し「無事です」を残します。
同様に、出勤の可否に応え、現在地を記入します。一応、自宅である場合が多いかもしれないので記入していますが、別の場所であれば変更して下さい。
状況にゆとりがあれば、コメントを記入します。
ｂ－２)本文を確認したら、「送信ボタン」で送信します。
タイトルは、変更せずに返信して下さい。変更すると「安否確認伝言板」に反映されません。

５－３ 「安否確認伝言板」を表示し確認する（管理画面から入る）

管理画面から「安否確認伝言板」を選択すると、右の画面が表示されます。一度「安否確認メール」を送信すると
「未受信者一覧」と
「安否確認伝言板」が表示されます。

「安否確認伝言板」ボタンを押すと下の画面が表示されます。尚、本システムは、１時間に６回（１０分毎に）返信メールを受信し表示します。従って、安否確認メールを送信した直後は、緑帯の送信履歴のみ表示されます。



「未受信者一覧」ボタンを押すと、下の画面が表示され未受信者に再度「安否確認メール」を送信することができます。

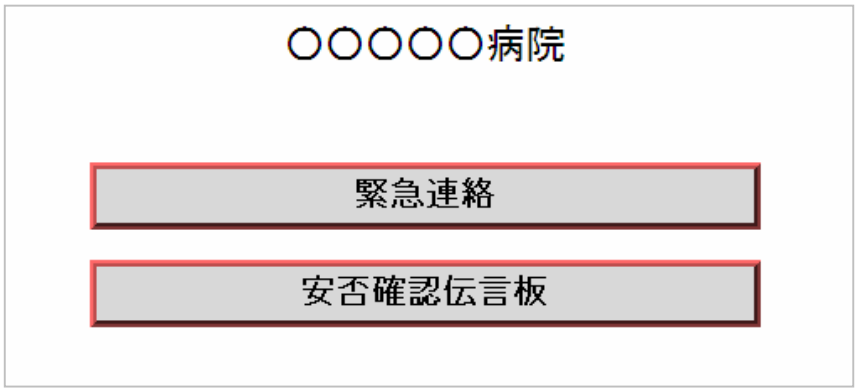
5－4 「安否確認伝言板」を表示し確認する(スマートフォン等から入る)

安否確認伝言板は、他のパソコン、スマートフォンや携帯電話(インターネット接続可能型)から、「緊急連絡パスワード」を配給された職員は自由に閲覧することができます。

a) インターネットから「火災、一斉メールシステム」サイトへ接続するとログイン画面が表示されます。

b) ログイン画面から施設IDと「緊急連絡パスワード」を入力します。

c）「緊急連絡」と
「安否確認伝言板」
のどちらかを選択する
ボタンが表示されます。



「緊急連絡」のボタンを選択すると→「緊急連絡メール」（第4章P１９）へ移動し、
「安否確認伝言板」のボタンを選択すると→本章（P25）の安否確認伝言板が表示されます。本システムは、１時間に6回（１０分毎に）返信メールを受信し表示します。

このページからは、「安否確認メール送信」、「未受信者一覧」や「未受信者への安否確認メール送信」はできません。

終了する場合は、ブラウザの「ファイル」→「終了」で終了します。

※安否確認メールシステムについての記録は、サーバー側に残りませんので事後の問い合わせには応じかねます。

第６章　料金とお支払い方法

６－１　料金（Ｆタイプ）（表示金額は全て消費税５％を含みます）

初期登録料　８，７１５円
月額使用料　２，６２５円　（初回のみ６ヶ月分前納、次回より１年分前納）

６－２　ご請求と入金

ご契約時のみ初期登録料と月額使用料（６ヶ月分）をご請求申し上げます。次回から、弊社若しくは特約代理店から１２ヶ月分の使用料を期間満了前にご請求申し上げます。

残念ながら、期間途中で解約頂く場合は、月を基準とし振込手数料などをご負担頂き精算しご指定口座にご返金いたします。解約申込書は、「火災一斉メールシステム」サイトからダウンロードできますので、ＦＡＸにてお申し付け下さい。

ご入金は、弊社若しくは特約代理店の指定口座にお振り込み下さい。

第７章　運用開始までの流れ

ご導入が決まりましたら

１　使用開始申込書①
火災通報装置情報②をＦＡＸ送信下さい
回線収容番号、PC メールアドレス、火災通報装置の型番等をお知らせ下さい。

▼

２　ご入金手続き
ご入金が確認できしだいＩＤ、パスワード、確認番号、緊急連絡パスワードご使用いただく火災通報装置への登録電話番号などを記入した「登録情報」を宅急便などでお送り致します。

▼

３　運用開始
火災通報装置への「火災一斉メールサーバー」電話番号と携帯メールアドレスの登録が終われば即運用開始ができます。

第８章　重要事項説明

次の場合、火災一斉メールが受信できないか、受信までに予想外の時間がかかる場合があります。

- １月１日など多くのメールがインターネット上を錯綜し情報渋滞が高い場合
- 予期せぬインターネット網の混乱や、外部侵入者による障害発生の場合
- 台風、地震など予期せぬ自然災害で弊社設備が破損した場合
- 火災、破裂、爆発、物の飛来若しくは落下又は衝突、犯罪等による障害が発生した場合
- 弊社メールサーバーの定期メンテナンスを実施する場合：この場合事前に電子メールにてご案内すると共に短時間に努めます。
- 使用者様の携帯電話設定が、火災通報メールを受信できない設定の場合
- 外部に依存するメール配信システムに障害が発生した場合

尚、免責事項については、「利用契約約款」をご参照下さい。

第９章　困ったなと思ったら

「火災一斉メールシステム」運用開始前後の代表的なご質問

９－１　Ｑ　当施設には火災通報装置がありません。使用申込みをしたいのですがどうしたら良いでしょうか？

Ａ　まず火災通報装置を設置して頂く必要があります。その後の手続きは同じです。

９－２　Ｑ　「回線収容番号」とはなんですか？

Ａ　火災通報装置に接続された電話番号をいいます。ご不明な場合は、消防設備点検業者の方に問い合わせると分かります。

９－３　Ｑ　火災通報装置への電話番号登録に自信がないのですが？

Ａ　お取引の消防設備点検業者様にご相談頂くのが一番だと思います。「火災一斉メールシステムをご使用いただくための火災通報装置の設定と試験方法説明書」をお渡しいただきご相談ください。簡単に解決いただけます。

９－４　Ｑ　火災メールが届かないのですが？

Ａ　本取扱説明書　Ｐ４の「携帯メールの通録・テスト送信」にて再度ご確認下さい。Ｅメールの受信拒否になっている場合も多く解除して、再度テストメール送信を行って下さい。

９－５　Ｑ　緊急連絡メールが届かないのですが？

Ａ　緊急連絡メールは、kajidesu_119@videw.com から配信されます。携帯の設定を受信できるように設定頂き、再度緊急連絡メールを送信しテストを行って下さい。

９－６　Ｑ　職員の携帯メールアドレスを正確に、簡単に入手する方法はないですか？

Ａ　職員の皆さんの理解を得ながら導入を進めたいものです。火災一斉メールの紹介文例を掲載（Ｐ３１）しております。ＱＲコードの利用は正確で簡単な方法ですので、是非試みて下さい。

９－７　Ｑ　当法人は、特養とグループホームを運営しており、どちらにも火災通報装置が設置されています。このような場合の契約はどのようになりますか？

Ａ　弊社との契約は、火災通報装置（本体）１台について１契約になります。

９－８　Ｑ　セキュリティーについて教えて下さい？

Ａ　サービス利用契約約款第3条 【当社は、個人情報保護法に定める個人情報取扱事業者として同法を遵守すると共に、本サービスに入力された個人情報管理について書面にて誓約します。システムセキュリティーについて、経済産業省の定める「コンピュータウイルス対策基準」並びに「コンピュータ不正アクセス対策基準」に準拠し運用します】に基づき運用致しております。

その他ご不明の点がありましたらお気軽にお尋ね下さい。弊社の分かる範囲でお応えできると思います。

見本文例です

ポイント！
受信したアドレスをエクセル表に貼付し、本システムに再度貼り付けると間違いもなく簡単です。

平成△△年５月１日

職員　各位

特別養護老人ホーム　ひなの里
理事長　　加藤　初徳

「**火災一斉メールシステム**」への携帯メールアドレス登録のお願い

毎日お疲れ様です。
この度、当施設では入所者の安全をより高めるため、上記システムの導入を理事会で決定致しましたので皆さんの協力を是非お願い申し上げます。
ご存じの通り、グループホーム等の火災で多数の犠牲者が出るなど、老人介護施設や老人ホームの火災に対する社会的関心は高まっています。特に、夜間は介護担当者の人数も少なく、防火体制の最大の弱点と言えるでしょう。
万一火災が発生した場合、少ない人員で初期消火、避難誘導、119 番通報、関係者連絡を行わなければなりませんが、これを確実に短時間で行うことは極めて困難です。先般の札幌市で発生したグループホーム火災がこのことを如実に物語っています。

この「**火災一斉メールシステム**」では、119 番通報と関係者連絡は機械に任せ、初期消火と避難誘導だけに集中できます。
「**火災一斉メールシステム**」の特長は、
- 万一火災の場合、火災通報装置の火災発生音声を「**火災一斉メールシステム**」が自動的に認識できること。
- 登録された携帯電話へ一斉に火災メールを送信できること。（最大５００台）

など他にない優れた特長を持っています。特に夜間、火災通報装置のボタンひとつで、職員みんなに繋がるという安心感が最大の導入理由です。加えて、風水害、離設や突発的な事故が発生した場合、正確で迅速な緊急連絡手段としても利用できます。

そこで、当施設メールアドレスへ皆さんの携帯メールアドレス登録を是非お願いします。
１、下のＱＲコードを携帯に読み込み、件名に名前を入れてメール送信して下さい。
２、「**火災一斉メールシステム**」へ担当者が登録し、後程、テストメールが配信されます。

以上で登録は終了します。
入所者の安全の向上のためご協力を宜しくお願いします。

「QRコード作成」で検索を
施設のｱﾄﾞﾚｽで作成し貼付

例　kato@katoden.co.jp

メ モ

運営主体・事務局　**有限会社 加藤電工**

〒877-0044
大分県日田市隈２丁目１番１８号
TEL　0973-23-2188
FAX　0973-22-7234
e-mail　info@katoden.co.jp